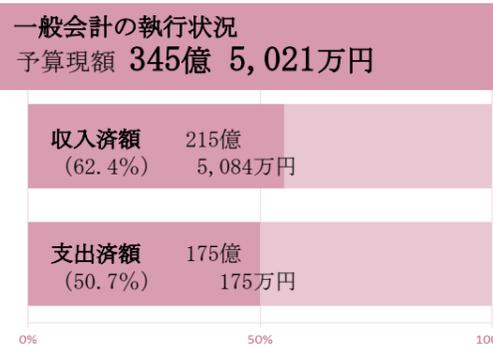


石岡市の家計簿

市では、税金や国からの補助金などがどのくらい入り、どのように使われているのかという、市の家計簿ともいうべき財政事情書を年2回（2月・8月）公表しています。

今回は、令和元年12月31日現在の財政状況をお知らせします。



■一般会計収入

	予算現額 (12月末)	収入済額 (4~12月)	予算に対する割合	説明
市税	98億 2,249万円	77億 2,227万円	78.6%	市民税や固定資産税など
地方譲与税	4億 1,230万円	2億 9,392万円	71.3%	国税から配分される収入
地方消費税交付金	13億 5,050万円	9億 2,385万円	68.4%	地方消費税から交付される収入
地方交付税	75億 5,197万円	70億 7,444万円	93.7%	国から交付される収入
分担金・負担金	2億 397万円	1億 9,813万円	97.1%	受益者からの分担金・負担金など
使用料・手数料	2億 5,130万円	1億 7,555万円	69.9%	施設の使用料や証明手数料等
国庫支出金	54億 8,090万円	27億 1,233万円	49.5%	国から特定事業等に交付される補助金等
県支出金	23億 1,332万円	4億 4,262万円	19.1%	県から特定事業等に交付される補助金等
諸収入	9億 5,001万円	3億 6,242万円	38.1%	預金利子や貸付金元利収入等
市債	32億 1,570万円	0万円	0.0%	公共施設整備等のための借入金
その他	29億 9,775万円	16億 4,531万円	54.9%	地方特例交付金等
合計	345億 5,021万円	215億 5,084万円	62.4%	

■収入の予算に対する割合について
国・県支出金などは、多くは事業完了後の収入となるため、現時点での割合は低くなっています。市債は、事業完了後に借入れるため、現時点では未収入です。

令和元年度一般会計予算 収入と支出の状況

令和元年度一般会計の当初予算額は332億3080万円でしたが、前年度からの繰越額10億1862万円、補正予算額3億79万円を加えて、12月末の予算現額は345億5021万円です。12月末までの収入済額は215億5084万円（予算額に対する収入割合は62.4%）、支出済額は175億175万円（予算に対する支出割合は50.7%）です。



人口 74,539人
世帯数 31,161世帯
（令和元年12月31日現在）

■一般会計支出

	予算現額 (12月末)	支出済額 (4~12月)	予算に対する割合	説明
議会費	2億 7,108万円	2億 1,279万円	78.5%	議員報酬・議会運営等の経費
総務費	32億 3,550万円	20億 930万円	62.1%	庁舎管理・市税の賦課徴収・選挙等の経費
民生費	122億 3,321万円	65億 6,384万円	53.7%	福祉事業・生活保護等の経費
衛生費	36億 4,802万円	26億 5,692万円	72.8%	医療・環境対策・ごみ処理等の経費
農林水産業費	10億 2,753万円	4億 1,112万円	40.0%	農林水産業の振興等の経費
商工費	6億 9,258万円	5億 4,600万円	78.8%	商工業の振興等の経費
土木費	53億 7,346万円	10億 9,922万円	20.5%	道路・公園等の建設や維持管理の経費
消防費	17億 2,401万円	9億 8,991万円	57.4%	消防・防災・救急活動・消防団等の経費
教育費	28億 8,984万円	17億 4,237万円	60.3%	学校・公民館・図書館等の経費
公債費	31億 4,266万円	12億 6,766万円	40.3%	市債(借入金)の返済経費
その他	3億 1,232万円	262万円	0.8%	労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費等
合計	345億 5,021万円	175億 175万円	50.7%	

■支出の予算に対する割合について
土木費は、事業完了後の支払いが多いため、割合が低く、その他の科目も、繰出金など年度末の状況を勘案し支出するものが多いため、現時点で割合が低めです。

令和元年度特別会計予算 収入と支出の状況

特別会計は、使用料や保険料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。現在市には水道事業を含め、九つの特別会計があります。

特別会計全体の当初予算額（水道事業会計を除いた額）は199億9554万円ですが、前年度からの繰越額1億2164万円、補正予算額3億7934万円を加えて、昨年12月末の予算現額は、

205億53万円です。12月末までの収入済額は104億6488万円（予算に対する収入割合は51.0%）、支出済額は115億2782万円（予算に対する支出割合は56.2%）です。

※水道事業については使用料により運営される企業会計となっています。



市の財産とは？

財産とは、家計にたとえると、貯金や持ち家のことをいいます。

市が所有している財産のうち、土地・建物の主なものは、市役所庁舎・小中学校・公民館などの施設やその敷地などです。

基金は、将来のために蓄えておく預貯金のことです。必要に応じて取り崩して利用しています。主なものは財政調整基金（約30億円）、減債基金（約9億円）、庁舎整備基金（約12億円）、公共施設整備基金（約19億円）などがあります。

市債（借入金）とは？

市債とは、一般家庭という住宅ローンなどの長期借入金のことです。道路整備や学校建設など大規模な事業を実施するときに利用します。大きな施設は、長期間、世代を超えて市民に利用されるため、市民が公平に負担するという観点から、整備時に借り入れし、時間をかけて返済します。

令和元年12月31日現在の市債残高は約458億7千万円で、平成30年12月末より3億9千万円ほど増えています。

■特別会計の収入と支出

	予算現額 (12月末)	収入済額 (4~12月)	予算に対する割合	支出済額 (4~12月)	予算に対する割合
国民健康保険	81億 3,581万円	48億 5,242万円	59.6%	49億 589万円	60.3%
下水道事業	25億 323万円	4億 2,708万円	17.1%	11億 4,978万円	45.9%
駐車場	2,808万円	2,283万円	81.3%	353万円	12.6%
農業集落排水事業	3億 5,055万円	3,552万円	10.1%	1億 8,927万円	54.0%
霊園事業	1,269万円	1,695万円	133.6%	658万円	51.9%
介護保険	82億 9,137万円	43億 1,840万円	52.1%	44億 3,925万円	53.5%
介護サービス事業	3億 1,274万円	1億 5,783万円	50.5%	2億 2,580万円	72.2%
後期高齢者医療	8億 6,605万円	6億 3,385万円	73.2%	6億 773万円	70.2%
合計	205億 52万円	104億 6,488万円	51.0%	115億 2,783万円	56.2%

※一般会計からの繰り入れ、市債の借り入れ等は年度末に入るため、現時点で支出が収入を上回っています。しかし、一般会計を含めた全会計では、収入が支出を上回っているため、一時借り入れは行っていません。

■水道事業の収入と支出

	予算現額 (12月末)	収入済額 支出済額 (4月~12月)	予算に対する割合	
収益的収入	収入	5億 7,673万円	3億 4,629万円	60.0%
および支出	支出	5億 4,960万円	2億 613万円	37.5%
資本的収入	収入	1億 9,392万円	7,080万円	36.5%
および支出	支出	3億 856万円	9,183万円	29.8%

市が所有している資産

土地	198万3,708.64平方メートル
建物	25万2,147.88平方メートル
基金	120億1,773万円
有価証券・出資金など	4億 536万円

市の借入残高（令和元年12月末現在）

会計名	市債残高（借入残高）
一般会計	290億 8,247万円
下水道事業	134億 2,666万円
農業集落排水事業	19億 5,437万円
介護サービス事業	980万円
水道事業	14億 64万円
合計	458億 7,394万円